



会報

昭和56年後期

NO. 17



社団法人全国建設機械リース業連合会

SCREW COMPRESSOR

高効率と省燃費と...

時代を先取りした数かずの機能を搭載して新登場!

エンジンコンプレッサーはデンヨー——この幅広い支持と期待にこたえて、評判の《PCシリーズ》にいま待望の新製品が誕生しました。能率アップとメンテナンスコストや燃費などのダウンを大胆に実現したこのニューモデル。まさに、時代の要請を先取りしたスーパースターです。
●新製品の5機種はいずれもスクリュタイプ。IC制御によって自動暖機運転ができるコンパクト化された高性能機です。集中一面操作の使いやすさ、安全運転のためのOKモニターを装備、そして、音の静かさや半永久的な耐久性など、いま考えられるすべての技術を投入しました。その実力は、省エネ時代といわれる今日だけでなく、これからの時代においても充分対応できる内容をもっています。



新発売 DPS-650SSの仕様<18.4m³/min>
<コンプレッサー> 神鋼DC-650スクリュ回転型油冷1段圧縮
●常用圧力7kg/cm² ●吐出空気量18.4m³/min ●冷却方式 強制油冷 ●潤滑方式 強制潤滑 ●潤滑油量50ℓ ●空気槽容量0.13m³
<エンジン> 小松SA6D110 6気筒4サイクル ●総排気量7130cc
●定格出力195ps/2200rpm ●燃料タンク300ℓ <大きさ> L3900
×W1600×H2060mm ●タイヤ6.50-14.8P 4輪 <乾燥重量> 3400kg

同時発売の新製品 ●DPS-130SS<3.7m³/min> ●DPS-180SS<5.1m³/min>
●DPS-270SS<7.6m³/min> ●DPS-375SS<10.6m³/min>

省燃費・防音型 エンジンコンプレッサー



本社 / 〒164 東京都中野区上高田4-2-2 TEL (03)389-3111(代表)
支店営業所 / 札幌・奥羽・仙台・新潟・東京・北関東・横浜・静岡・名古屋・金沢・京都・大阪・広島・高松・福岡・南九州 出張所 / 全国40都市

巻頭言



(社)全国建設機械リース業連合会

会長 山内 鹿蔵

後期号の刊行に一言と云う事になったのですが本年も既に師走に入り晩秋から初冬へと例年より足早に寒気団の来襲に関東以西の太平洋岸を除いて、日本海側で季節風が吹き荒れる昨今であります幸い本年は先月箱根湯本に於ける第22回理事会で発表出来ました通り連合会進展に伴う業界近代化に基く指定業種指定の長年に渉る業界の念願が漸く達成其の認可の運びと相成り今や近代化促進業種指定の実務的審議に向って進められつゝあり業界連合会結成以来の数々の業績の中で最も画期的な記念すべき重要5項目の一つであり会員の諸賢と共にご同慶に堪えない次第で今後業界の大いなる体質改善と格段の向上を計るべき時代になった訳であり、会員の皆様方の一層の御理解と連合会への御協力を御願ひ申上げるものであります。

御承知の通り連合会の特筆すべき5項目は通産省に於ける(1)産業区分の確立にはじまり国税庁に於ける(2)法定耐用年限の改正建設省に於ける(3)社団法人の認可尚亦建設事業に対する(4)重要関連業としての認証を得られ更に今回(5)近代化促進法の取扱いに伴う業種指定の認可が建設省並に通産省に依って告示公表せられましたことは連合会が一

丸となつての不撓の推進努力はさる事乍ら関係官庁の深い御理解と顧問諸先生方の御指導御協力の賜と感銘に堪えないところで御座います。

扱て行財政改善指導の55年度秋以来の政策の遂行に需要抑制財政さく減は公共業界の基幹産業は公共事業公共投資の0成長と民間設備投資の低迷に依る0シーリングに建設業界は過当競争の限界に達し入札制度見直しに迫られつゝあり当リースレンタル業界にも背に腹は代えられぬとばかりに地域別機種別企業別の差はありますが夫々の牙城を侵害されつゝあり、一部の脱落を見つゝある現状であり、遺憾であります。何卒第1次オイルショックを反省し一層の企業経営努力と自主的規制を強め道義的商法に認識を高める必要に迫られて居るのではないのでしょうか、幸い今回の近代化の促進に依り企業の改善に融資対策対税措置の恩恵に浴する様当分の間忍耐努力を期待申上げるものであります。

尚偶々去る11月30日内閣改造が発表せられ一部を残して新しい顔ぶれの大任が任命せられ引続いて遂行せられるであろう57年度以降予算抑制の財政と景気の落込浮揚策の喰い違いは止むを得ない実情乍ら貿易の圧迫に対する我国の内需強

会報第17号 目次

巻頭言・山内会長	1
連合会議事録・第8回定期総会	2
第20回理事会	15
連合会主要行事	17
特集・建機リース業近促法の指定業種に	18
編集後記・事務局よりお願い	30

化は当然の施策として新政府に期待をもつべきであらうと思います。

歳末をひかえ本年の引締めと来春の明るさを念じつゝ、会員各社の繁栄を御祈り申上度い。

追文

近代化促進法並に指定業種認可適用に伴い非会員の入会申入も行われつゝあります。業界拡充の意味で各地域の協会協同組合への入会は夫々の加入条件に随ひ受入を認められたい。

目下

連合会議事録

第8回 定期総会



1. 日 時 昭和56年5月27日(水)

PM 2:30~3:50

2. 場 所 連合会会議室

3. 出席者 構成員現在数 762社

代議員現在数 85名

代議員出席数 85名

本人出席 32名

代理人出席 6名

委任状によるもの47名

4. 議 事

午後2時40分、松尾理事の司会により開会を宣言、引き続き香取専務理事より定款第23条の定足数について、代議員数85名、うち本人

並びに代理出席者38名、委任状によるもの47名につき、総会の有効成立の旨説明があった後、藤井副会長よりの開会の挨拶に続き、山内会長よりつぎのような挨拶(要旨)がありました。

「第2次オイルショックで経済も大変であった、56年の後半より、企業、機種別のバラツキがあっても回復に向うのではないかと信じます。リース、レンタル業界も恵まれて来ているが、きびしい反面やり甲斐もあると思います。技術の向上、地位の向上のため、業種指定近代化促進法等、さらには事務局の改善強化みなおし等で協力いたしている連合会、協会、組合は一

層の交流を深め、この不況を乗り越えるため團結と協力を一層強化し、連合会の発展を期したいと思います。」

ついで、松尾司会より議長選出について代議員に計ったところ司会一任ということで、兵庫県理事長桐月正邦代議員を議長に指名、議長より本会のスムーズな進行にご協力いただきたいとの挨拶があり、その後議事録署名人に中部の近藤昌三氏、神奈川の水品潔氏をそれぞれ指名した。

なお、山内会長より、来賓として御出席の建設省谷田部振興課長が御多用中で、長時間在席が不可能とのことであり、先に祝辞を頂戴したいとの発言がありました。(御祝辞は後掲)。祝辞後議事に入りました。

<第1号議案>昭和55年度事業報告承認の件
香取専務より、議案書1頁から12頁までが55年度の事業内容であります、との説明があり、満場一致異議なく本案を承認可決しました。

<第2号議案>昭和55年度収支決算書承認の件
小保理事より、実質的に事務局にて処理している。変わった点は、借入金保証金400万は東京、日本重機両協会で負担計上、又事務局対策費として400万計上したが、実際には保証金として1200万出たので、当初より800万近く決算されています。人材雇用がなされず、議案書15頁の総合対策費決算は0であります、との説明があり、議長より承認を求めたところ、万場一致本案を可決しました。(議案書13頁~17頁)

引き続き河口会計監事が監事を代表し、昭和55年度決算書並びに関係諸帳簿を厳重に照合監査しました結果、適正なものと認めますとの監査報告あり。

議長が承認を求めたところ、万場一致本案を可決しました。

<第3号議案>昭和56年度事業計画承認の件
香取専務より議案書19頁第3号議案について1項から8項まで説明あり。

議長より承認を求めたところ万場一致本案を可決しました。

◇昭和56年度事業計画◇

1. 登録制度採用推進及び業種指定採用促進を強力に推進する。
2. 登録制度採用推進及び業種指定採用促進のため各種調査、会員アンケート調査の実施。
3. 災害、公害、騒音防止並びに安全衛生に関する態勢の推進を計り、建設機械の技術開発、わが国建設産業の発展に寄与する。
4. 建設機械賃貸事業に関する行政施策への協力。
5. 連合会のユーザーに対するPRとサービスの推進指導。
6. 流通研究委員会の協力的な活動により流通の研究、遊休機械の交流及び情報の交換指導。
7. 連合会の総合対策として事務局の強化を図る。
8. 原価計算算定参考書(仮題)及び機種別保有台数調査実施(56年度版作成のため)。
9. 会員の資質の向上を図るため技能研修等の講習会開催(含仮称エンジン発電機整備主任技術者講習会)
10. 労働省が実施する「建設機械整備」技能検定試験実施及び車両系建設機械事業内検査者研修に協力する。
11. 建設省が実施する「建設機械施工」検定試験に協力する。
12. 建設省、労働省、建設業者等との座談会の実施。
13. 各種事故、災害防止、健康管理月間の実施。
14. 全国友好団体との交流。
15. アウトサイダーの加入促進。
16. 建設機械・資材管理基準の推進。
17. エンジン発電機の点検整備強化推進と車両系

リース機械等点検表等の推進により、各機械、資材の安全に万全を期す。

18. その他連合会の発展と目的達成のため、メーカー、ユーザーとの懇談会開催及び公共のためになる事業を行う。

<第4号議案>昭和56年度収支予算案承認の件
松尾理事より議案第20頁～第23頁迄の当該案件の説明あり。人件費を全国と東京で支払っていたものを一緒にまとめ、東京から負担金人件費として200万支払うこととした。借室費水道光熱費、共益費も負担金として、東京と日本重機よりわけて支払うこととした。総合対策費を1000万計上、事務局の強化を進めて行きたいとの説明あり。

議長より承認を求めたところ万場一致本案を可決しました。

<第5号議案>新加盟地区富山県建設機械リース業協会紹介の件

富山県協会より代表2名出席されており紹介、今後ともよろしくとの高野代表より挨拶あり。万場拍手で歓迎了承しました。

◇議事終了◇

桐月議長より「皆様の御協力により長時間にわたりスムーズに議事が進行、ここに終了することが出来ました」との挨拶あり。

◇感謝状贈呈◇

北越工業株式会社

昭和50年7月より昭和56年3月に至る間、連合会に対する円滑な運営に多大の貢献されたことに対し、記念品を贈り感謝状を山内会長より贈呈しました。

◇祝電◇

- (1) 古賀雷四郎 参議院議員
- (2) 坂野 重信 "
- (3) 井上 孝 "
- (4) 三塚 博 衆議院議員

(5) 静岡県重機建設業工業組合

以上の方々より祝電あり、松尾司会より発表されました。

◇閉会のことば◇

阿部喜平副会長「第8回社団法人全国建設機械リース業連合会定期総会に九州、北海道と多数御出席をいただき無事終了しました。今年こそはとの意気に溢れております。それぞれ力を合せて協力して行き初期の目的を果たすため御尽力と御協力を願います」との挨拶を最後に第8回定期総会を終了しました。

<祝辞>

建設省振興課 谷田部課長

「本日は社団法人全国建設機械リース業連合会総会お目出度う御座います。

建設事業は年々増加している。又建設産業に従事されている方々は49万業社になっております。当連合会の様なりリース業に期待することが大きいと思います。

会長はじめ会員の皆さん熱心に運営に当られておられ御苦労をお察し申し上げます。組織を強化して行くことも、中、小企業の近代化促進を強めるために取組んでおり、本年こそは是非実現していきたいと考えています。あらためて関係省庁、通産省と強行に折衝しまして強力に進めてまいりたい所存です。

リース業界の皆様、建設業の近代化ということで益々の御発展を祈る次第です」

坂野重信参議院議員 代理 杉田敬三氏、「第8回定期総会無事終了誠に御目出度う御座います。

坂野が議会の関係で出席出来ず代理で参りました。皆様益々御健勝にて社業発展のため御活躍されますように祈念いたします。」

(第2号議案)

決 算 報 告 書

第 8 期

自 昭和 55 年 4 月 1 日
至 昭和 56 年 3 月 31 日

社 団 法 人

全 国 建 設 機 械 リ ー ス 業 連 合 会

収 支 計 算 書

(自 昭和55年4月 1日)
(至 昭和56年3月31日)

社団法人 全国建設機械リース業連合会

1) 収入の部

勘 定 科 目			予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
寄付金収入	寄付金収入	寄付金収入	100000	64120	35880	
会員会費収入	正 会 員	正 会 員	36439500	36734000	△ 294500	
会報等賛助 会費収入	会 員 名 簿 会 報 作 成	会 員 名 簿 会 報 作 成	4700000	3916000	784000	
	パンフレット 作 成 費	パンフレット 作 成 費				
臨時理事会 収 入	臨 時 理 事 会 (宿 泊 費)	臨 時 理 事 会 (宿 泊 費)	1800000	2208000	△ 408000	
雑 収 入	受 取 利 息 (銀 行 利 息)	受 取 利 息 (銀 行 利 息)	50000	242187	△ 192187	
	雑 収 入	雑 収 入	600000	788199	△ 188199	
そ の 他	預り保証金	貸室保証金	0	4000000	△4000000	
前年度繰越金	前年度繰越金	前年度繰越金	7800473	7800473	0	(註)
合 計			51489973	55752979	△4263006	

2) 支出の部

勘 定 科 目			当 年 度 予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
支部及び地 区交付金	交 付 金	交 付 金	17148000	17422500	△ 274500	
事 業 費	事 業 費	事 業 費	12596000	1,674,315	10,921,685	
事 業 費	事 業 費	委 員 会 費	800000	194300	605700	
		部 会 費	450000	0	450000	
		事 務 局 長 会 費	200000	97655	102345	
		特 別 会 議 費	500000	93550	406450	
		旅 費 交 通 費	700000	221810	478190	
		調 査 研 究 費	300000	260000	40000	
		広 報 費	900000	650000	250000	
		謝 礼 金	150000	135000	15000	
		退 職 引 当 預 金	22000	22000	0	
		綜 合 対 策 費	8,574,000	0	8,574,000	
管 理 費	管 理 費	管 理 費	10,060,000	8,859,111	1,146,889	
	管 理 費	人 件 費 (給 料 手 当)	2,904,000	2,904,000	0	
		事 務 用 品 費	700,000	444,153	255,847	
		通 信 費	60,000	168,260	431,740	
		総 会 費	500,000	274,880	225,120	
		理 事 会 費	10,000	90,050	92,950	

勘定科目			当 年 度 予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
大科目	中科目	小科目				
		臨時理事会費	1,800,000	2,208,000	△ 408,000	
		福利厚生費	10,000	6,840	3,160	
		交際費	400,000	391,620	8,380	
		電話費	600,000	278,360	321,640	
		借室費	600,000	600,000	0	
		水道光熱費 (含 共益費) 暖房費	700,000	483,948	216,052	
		加入会費	192,000	192,000	0	
出版費	出版費	出版費	5,200,000	3,884,620	1,315,380	
		会員名簿費	2,400,000	2,201,550	198,450	
		会報費	1,300,000	1,488,330	△ 188,330	
		パンフレット 作成費	1,000,000	0	1,000,000	
		印刷製本費	500,000	194,740	305,260	
雑費	雑費	雑費	500,000	533,520	△ 33,520	
事務所対策費	事務所対策費	事務所保証金	4,000,000	12,000,000	△8,000,000	
予備費	予備費	予備費	2,039,973	0	2,039,973	
繰越金	次期繰越金	次期繰越金	0	11,378,913	△11,378,913	(註)
支 出 合 計			51,489,973	55,752,979	△4,263,006	

※ 財産目録の流動資産合計額から負債合計額を控除した金額です。

財 産 目 録

昭和56年3月31日

I 資産の部		
〔流動資産〕		
現金手許在高		68,457
普通預金	5,379,956	
三菱銀行 神保町支店		
計		5,379,956
未収入金		
昭和55年度会費未収(3地区協会)143(社)	3,646,500	
保証金未収(東京建設機械リース業協会)	2,000,000	
(日本重機械リース業協会)	2,000,000	7,646,500
流動資産合計		13,094,913
〔固定資産〕		
備品		
49/11 スチール書庫(4段) 2個	29,000	
50/7 スチール折たたみ椅子 10個	21,000	
会議用テーブル 3個	24,000	
50/10 スチール折たたみ椅子 20個	29,000	
51/3 GRG(看板用) 1台	18,000	
52/3 キャノンNPL5 1台	535,560	
54/7 会議用テーブル 5個	40,000	
退職引当預金		
富士銀行 九段支店	40,541	
保証金、近江兄弟社借室貸貸契約保証合	12,000,000	
固定資産合計		12,737,101
資産合計		25,832,014
II 負債の部		
〔流動負債〕		
未払金		
55年度分交付金未払(3地区協会)143(社)	1,716,000	
流動負債合計		1,716,000
〔固定負債〕		
預り保証金		
東京建設機械リース業協会	2,000,000	
日本重機械リース業協会	2,000,000	
固定負債合計		4,000,000
負債合計		5,716,000
差引・正味財産		20,116,014

以上のとおり御報告いたします。

昭和56年5月27日

社団法人 全国建設機械リース業連合会

会長 山内 鹿 蔵

監 査 報 告 書

昭和55年度(自昭和55年4月1日至昭和56年3月31日)決算書表
並びに関係諸帳簿を厳重に照合監査しました結果、適正なものと認めます。

昭和56年5月12日

社団法人 全国建設機械リース業連合会

会 計 監 事

小 野 義 隆 ㊟

源 藤 作 ㊟

河 口 晃 徳 ㊟

(第4号議案)

昭和56年度 予 算 書

自 昭和56年4月 1日

至 昭和57年3月31日

社団法人 全国建設機械リース業連合会

1) 収入の部

勘 定 科 目			当 年 度 額	前 年 度 額	増 減	備 考
大 科 目	中 科 目	小 科 目				
前年度繰越金	前年度繰越金	前年度繰越金	11,378,913	7,800,473	3,578,440	
寄付金収入	寄付金収入	寄付金収入	100,000	100,000	0	
会員会費収入	正 会 員	正 会 員	37,587,000	36,439,500	1,147,500	4250×12 ×737
会報等賛助 会費収入	パンフレット 会報作成	パンフレット 会報作成	2,300,000	4,700,000	△2,400,000	会報 650,000×2 パンフレット 1,000,000
臨時理事会費 収入	臨時理事会費	臨時理事会費	1,920,000	1,800,000	120,000	16000×60 ×2
雑 収 入	雑 収 入	雑 収 入	750,000	650,000	100,000	
雑 収 入	受 取 利 息 (銀 行 利 息)	受 取 利 息 (銀 行 利 息)	100,000	50,000	50,000	
	雑 収 入	雑 収 入	650,000	600,000	50,000	
負 担 金 収 入	負 担 金 収 入	負 担 金 収 入	5,744,000	0	5,744,000	
		人 件 費	2,000,000	0	2,000,000	
		借 室 費	2,760,000	0	2,760,000	
		水 道 光 熱 費 共 益 費	984,000	0	984,000	
事 業 収 入	事 業 収 入	事 業 収 入	3,486,000	0	3,486,000	
		整 備 表 作 成 費	2,100,000	0	2,100,000	
		点 検 表 作 成 費	1,386,000	0	1,386,000	
収 入 合 計			63,265,913	51,489,973	11,775,940	

2) 支出の部

勘定科目			当年度 予算額	前年度 予算額	増減	備考
大科目	中科目	小科目				
支部及び 地区交付金	交付金	交付金	176,880,000	171,480,000	5,400,000	2,000×12 ×737
事業費	事業費	事業費	151,558,800	12,596,000	2,559,800	
		委員会費	800,000	800,000	0	1回50,000 ×16
		部会費	450,000	450,000	0	1回50,000 ×9
		事務局長会費	200,000	200,000	0	1回
		特別会議費	600,000	500,000	100,000	
		旅費交通費	900,000	700,000	200,000	
		調査研究費	400,000	300,000	100,000	
		広報費	1,000,000	900,000	100,000	
		謝礼金	150,000	150,000	0	
		退職引当預金	655,800	22,000	633,800	
		総合対策費	1,000,000	8,574,000	1,426,000	

勘定科目			当年度 予算額	前年度 予算額	増減	備考
大科目	中科目	小科目				
管理費	管理費	管理費	17,092,600	10,006,000	7,086,600	
		人件費 (給料手当)	5,246,400	2,904,000	2,342,400	
		事務用品費	700,000	700,000	0	
		通信費	700,000	600,000	100,000	
		総会費	500,000	500,000	0	
		理事会費	1,000,000	1,000,000	0	450,000×2 100,000×1
		臨時理事会費	1,920,000	1,800,000	120,000	160,000×6 ×2
		福利厚生費	150,000	10,000	5,000	
		交際費	500,000	400,000	100,000	
		電話費	600,000	600,000	0	
		借室費	4,243,200	600,000	3,643,200	353,600×12
		水道光熱費 (含 共益費 暖房費)	1,476,000	700,000	776,000	
		諸会費	192,000	192,000	0	日本建設機械 化協会会費 40,500×4 公益法人協議 会会費 30,000
出版費	出版費	出版費	3,200,000	5,200,000	△2,000,000	
		会員名簿費	0	2,400,000	△2,400,000	
		会報費	1,400,000	1,300,000	100,000	700,000×2

勘定科目			当 年 算 額	前 年 算 額	増 減	備 考
大科目	中科目	小科目				
		パンフレット作成費	1000000	1000000	0	
		印刷製本費	800000	500000	300000	
事業費	事業費	事業費	3486000	0	3486000	
		整備表作成費	2100000	0	2100000	
		点検表作成費	1386000	0	1386000	
雑費	雑費	雑費	600000	500000	100000	
事務所費	事務所対策費	事務所対策費	0	4000000	△4000000	
予備費	予備費	予備費	6043513	2039973	4003540	
支出合計			63265913	51489973	11775940	

第21回理事会

- 日時 昭和56年5月27日(水)
PM1:10~PM2:30
- 場所 連合会会議室
- 出席者 33名(内訳△理事30名のうち本人出席20名,代理出席3名,委任状によるもの10名)

4. 議事

午後1時10分,香取専務理事の開会宣言に続き会成立の旨説明あった後山内会長より次のような挨拶がありました。

「本月は行事の多い月であるにもかかわらず多数の出席をいただき有難う御座いました。理事会に引き続き総会を開催し,連合会の一層の団結を計って行きたいと思っております。日本経済状況も大変なようですが,昨日あたりの土光会長の申し出にも,全経代表3名も土光会長の意向について,お引受けするわけにはいかない,という感じが出ています。

建設業界のきびしい状況ですが,一方考え方によってはやり甲斐のある年であるとも言えます。オイルショックの時と同じ気持でやって行けばこの難関も切り抜けることが出来ると思っております。56年度は,あらゆる体制が整ってまいりました,昨年あたりから運営に対し全体的に見なおしということなど盛上って来ました。

今日は,近促法のことについて,建設省振興課に移ったことで熱心に中小企業庁に接衝していただいている振興課の谷田部課長に御出席いただくことになっております。直接我々の近促法業種指定,引続き登録制とのあらましについて説明していただくことになっております。

有意義な定期総会になりますように理事会でお膳立てして完成していただきたいと思っております。

時間の許す限り慎重審議の上進めていたゞきたい。

なお,日本重機械リース業協会さんが本年の定期総会で,役員改選を行われましたので,会長に就任された後藤会長より一言御挨拶下さい

日本重機械リース業協会 後藤会長

「今期が改選期でありまして,10年を経過しこの辺で心機一転とのことで,前会長藤井孝治氏を名誉会長に,新しく私が会長になりました。また,副会長は志茂,松田二氏のほかに新進気鋭の島山,酒井の両氏にもなっていたゞき4名に増員,新時代に対応できる体制としましたので,今後とも一層の御支援,御鞭撻をお願いする次第です」

◇議長選出◇

山内会長を指名。

◇議長挨拶◇

「御指名により会長の私が議長にさせていただきます。副会長の方々よろしく御協力を願います。署名人は日本重機の志茂理事,東京の松尾理事のお2人にお願ひします」

◇議案審議◇

<第1号議案>昭和55年度事業報告書承認の件

① 部門別委員会

6部門の委員が委員長を中心に活発に連合会の事業推進に努めました。

- (1)総務委員会 (2)企画委員会 (3)渉外委員会
(4)調査委員会 (5)広報委員会 (6)行政委員会

② 部会

三部会の部会長を中心に部会の強化を兼ねて連合会の事業推進に努めました。

- (1)重機部会 (2)機械部会 (3)仮設部会

③ 近促法業種指定推進委員会

積極的に各種調査推進に努め業種指定許可を得る様努力して参りましたが、残念乍ら56年度にもち越されましたので一層の促進を計りたいと思います。

- ④ 建設機械の資材の管理基準基本計画策定
保有機械、資材の管理基準を策定し、保守点検整備の技術力を具備し安全操業に必要な基準を自主的に設定し、経営基盤の強化と業務処理の効率化を促進するための準備を進めてきました。

⑤ 顧問

参議院議員	安井謙
"	古賀雷四郎
"	坂野重信
"	井上孝
衆議院議員	三塚博
"	黒川信夫
弁護士	畑山実
公認会計士	中沢力

上記先生方に委嘱しております。

⑥ 相談役

㈱関西機工	志茂坂敏
三和リース㈱	西垣勝行

上記両氏に委嘱しております。

⑦ 第7回定期総会

- ⑧ 理事会 (1) 第18回理事会
(2) 第19回理事会

以上は会報15号、16号に詳細を掲載してありますのでここでは省略させていただきます。

<第2号議案><第2号議案><第4号議案>

<第5号議案>については、第8回定期総会の理事の中に詳述してありますので、ここでは省略させていただきます。

<その他>

1. 指定業種指定について

志茂委員長より、54年のものを一応提出してありますが、今回新しく提出するよう建設省

振興課から申出あり、本年4月現在まで加えて新しく提出しました。昨年までの資料に基き追加部分の説明があり、細部にわたり検討しました。

議長より、志茂委員長に一任していただいて、との提案で全員それを了承しました。なお保有台数についても提出してもらいたい、との議長よりの申出も了承しました。

2. 事務局運営問題について

松田委員長より、事務局運営問題については難かしい点があり、本部を含めて19になります。各地の意見を聞いたところ中部、静岡重機の2協会からいたゞいており、皆さんに満足していただゞよう進めたいと思います。1000万の予算も出して貰って、より早急に皆さんの協力を得て完成させたい。就業規則と簡単に云われても人件問題もありなかなか難かしい。慎重に慎重を重ねて最善を尽くしたいと思います。との説明がありました。

後藤理事より、意見もまとまったので、早い時期に作成すべきである。何回会議をもつても同じことではないか。予算も出ていることであり、早急にやるべきである等の意見の交換あり委員長より、近く実施の段階に入りたい。との答がありました。

議長より、委員長に一任という提案で全員了承しました。

◇閉会の辞◇

中村副会長よりつきのような挨拶がありました。

「本日の理事会は、つきに総会が控えており、足早に審議を終了させていたゞきましたが熱心に審議して無事終了させていたゞき有難う御座いました」

連合会主要行事

◇第3回事務局運営協議会

日時 昭和56年9月22日(火)
PM2:00より

場所 連合会会議室

議題 ① 就業規則(案)最終案検討'

② その他

当日の検討により就業規則を決定し10月1日より実施することになりました。

◇リースレンタル業部会

日時 昭和56年3月19日

AM11:00~PM1:30

場所 日本建設機械化協会

連合会より香取専務理事が出席しました。

◇陳情書提出

<建設機械賃貸業の今後のあり方>

提出日 7月7

配布先

1. 建設省関係

- (1) 建設省計画局計画局長 吉田公二殿
- (2) " 大臣官房参事官 杉岡治殿
- (3) " " 建設機械課長 中野俊次殿
- (4) " " 建設機械課々長補佐 海老原明殿
- (5) " 計画局建設業課長 北村広太郎殿
- (6) " " 振興課長 谷田部嘉彦殿

2. 通産省関係

- (1) 通産省産業政策局局長 杉山和男殿
- (2) " " 商務サービス産業室長 江崎格殿

3. 中小企業庁関係

- (1) 中小企業庁長 官勝谷保殿
- (2) " 計画部計画部長 杉山弘殿
- (3) 中小企業庁計画部計画課長 吉田文毅殿
- (4) " 長官官房総務課長 宇田川治宣殿

◇合同委員会

日時 昭和56年9月28日(月)
PM1:30~PM5:00

場所 連合会会議室

議案

- ① 近代化促進法、「業種指定」の推進経過について
- ② 事務局運営協議会(就業規則等)推進経過について
- ③ 第22回全国理事会開催予定月日、場所について(神奈川県協会協力)(11月12,13両日箱根湯本天成園)
- ④ 第22回理事会本部提案議案について
- ⑤ 可搬形発電機の主任技術者講習会実施について(10月下旬より実施するよう準備)
- ⑥ 原価計算算定参考書(仮題)の作成について
- ⑦ 中小企業の技術改善補助金問題の検討について



建機リース 近促法の指定業種に

中小企業近代化促進法施行令一部改正

昭和56年10月9日付(金)の官報第16412号で、近促法の一部が改正され、「建設機械器具賃貸業」も加えられることになりました。長い間本当に有難う御座居ました。皆様の御協力、御支援に深く感謝申し上げます。なお、その部分をつぎに抜粋します。

「政令第303号」

中小企業近代化促進法施行令の一部を改正する政令

内閣は、中小企業近代化促進法(昭和38年法律第64号)第3条第1項及び第4条第1項の規定に基き、この政令を制定する。中小企業近代化促進法施行令(昭和38年政令第337号)の一部を次のように改正する。(以下他業種は除く)

○第2条第1項第55号の次に次の1号を加える。

“55の2 建設機械器具賃貸業”

＜建設業経理士検定の実施＞

標記のことにつきましては、建設省計画局建設振興課より、財団法人建設業振興基金において簿記会計知識の普及、会計経理処理能力の向上を計ることを目的として実施することになったものであり、当連合会会員各位におかれましては本検定に協力していただきたいと思ひます。

◇財団法人 建設業振興基金

東京都港区虎ノ門1～26～5(第17森ビル, 11F, 電話03(501)1471)。

政府は中小企業近代化促進法施行令の一部を改

正、管工事業、内装仕上工事業及び機械器具賃貸業など五業種を同法「指定業種」に指定、10月9日付の官報に告示した。今回指定された業種に関しては、建設大臣が、それぞれの業種が近代化を進めるうえでの指針となる中小企業近代化計画(5ヶ年計画)を一年以内に策定、提示するとともに、近代化促進貸付など同計画をあとおしするのための金融上の優遇措置を講ずる。

金融など優遇措置、近代化を促進

中小企業近代化計画の内容は、①目標年度における製品の性能又は品質、生産費、製品の供給見通しなどの近代化の目標、②新商品、新技術の開発、設備の近代化、適正生産規模、競争の正常化取引関係の改善等の近代化の目標達成に必要な事項、③従業員の福祉向上、消費者の利益の増進、環境保全等の近代化に際して配慮すべき事項——が盛り込まれる。

この近代化計画が策定告示されると、それぞれの業種に属する中小企業すべてに対し、①中小企業金融公庫、国民金融公庫の近代化貸付(金利・年8.25%)、②中小企業合同資金貸付(高度化資金融資、年率・2.7%)、③中小企業信用保険公庫近代化保険(普通保険、無担保保険の別枠)——といった金融上の優遇措置が講ぜられ、近代化計画達成をあと押しする。

なお、これらの近代化計画実施の中心となる受け皿団体は、建設機械器具賃貸業は建設機械リース業連合会(山内鹿蔵会長)。

一方、「指定業種」指定と同時に「特定業種」にダブル指定された管工事業は、建設大臣が策定告示する中小企業近代化計画を踏まえ、同計画の

受け皿団体となる全国管工事業協同組合連合会が独自に、「中小企業構造改善計画」を作成、建設大臣の承認を得て、五ヶ年計画の構造改善事業に取り組むことになる。

この構造改善計画には、構造改善事業の目標、②構造改善事業の内容及び実施時期(イ)新商品、新技術開発=共同技術開発、共同試験等(ロ)経営の規模又は方式の適正化=企業合同、協業化等、(ハ)設備の近代化=共同投資、過剰設備の処理等、(ニ)取引関係改善事業=共同販売、共同購入等)、③構造改善事業を実施するのに必要な資金の額及び調達方法——が盛り込まれる。

同計画に基づいて実施される構造改善事業への参加者に対しては、①中小企業金融公庫、国民金融公庫の構造改善貸付(年利・8.0%)、②中小企業事業団知識集約化貸付(無利子)、③中小企業事業団構造改善等貸付(年利・2.7%)、④中小企業信用保険公庫近代化保険(普通保険、無担保保険の別枠)——といった金融上の優遇措置に加え、①百分の32の割増償却、②合併等に伴う登録免許税の特例、③技術開発税制(税額控除、賦課金の任意償却、圧縮記帳)、④特別土地保有税及び事業所税の非課税措置——といった税制上の優遇措置が講ぜられることになっている。



建設リース業者視察

大阪 → 東京



林バイブレーター(株)草加工場

10月6日、大阪建設機械リース協同組合の永田仁作理事長をはじめ34名が林バイブレーター(株)草加工場を見学、翌10月7日には三光機械リース(株)市川工場、(株)岡田商会第一工場等を見学の



三光機械リース(株)市川工場

あと協会会議室で山内会長はじめ東京の会員とのミーティングを行った。

中小企業近代化促進法の概要

建設省計画局建設振興課

	指 定 業 種	特 定 業 種
指 定 要 件	① 当該業種における相当部分が中小企業者によって行われていること。 ② 国民生活の安定、向上を図る立場から早急にその近代化を図ることが必要であると認められること。	① 指定業種であること ② 国民経済の健全な発展又は国民生活の安定向上を図る上で重要な業種であること。 ③ 緊急に構造改善を進める必要がある業種であること。 ④ 業界全体の意欲が旺盛であり、組織的に構造改善を進める体制が整っていること。
計 画	名 称 中小企業近代化計画 策定主体 主務大臣（中小企業近代化審議会に諮問）	中小企業構造改善計画 事業協同組合（連合会） 社団法人など（中小企業近代化審議会に諮問）
	計画内容	① 近代化の目標（製品の性能又は品質、生産費、製品の供給の見通し等） ② 近代化の目標達成に必要な事項（新商品、新技術の開発、設備の近代化、適正生産規模競争の正常化、取引関係の改善等） ③ 近代化に際して配慮すべき事項（従業員の福祉向上、消費者の利益の増進、環境保全等）
金融上の措置	① 中小公庫・国民公庫近代化貸付（8.25%）	① 中小公庫・国民公庫構造改善貸付（8.0%）

助 成 措 置	② 中小企業事業団企業合同資金貸付（2.7%） ③ 中小企業信用保険公庫近代化保険（普通保険、無担保保険の別枠）	② 中小企業事業団知識集約化貸付（無利子） ③ 中小企業事業団構造改善等貸付（2.7%） ④ 中小企業信用保険公庫近代化保険（普通保険、無担保保険の別枠）
	税制上の措置	① 32/100 割増償却 ② 合併等に伴う登録免許税の特例 ③ 技術開発税制（税額控除、賦課金の任意償却、圧縮記帳） ④ 特別土地保有税及び事業所税の非課税措置
助成対象者	指定業種に属する中小企業者	構造改善事業参加者

「近促法の概念」の補足説明

	指 定 業 種	特 定 業 種
指定要件 及 計 画	昭和56年10月9日付官報告示 政令には「中小企業近代化促進法」の「指定業種」として「建設機械器具賃貸業」が指定された ① 建設大臣が「中小企業近代化審議会」に諮問して、「建設機械器具賃貸業」の「中小企業近代化計画」を定め、之を公表して必要な指導を行ふ。 ② 中小企業近代化審議会の構成次の通り。 1. 行政側委員（建設省、中小企業庁） 2. 専門家委員（中小企業振興事業団、中小企業金融公庫） 3. 業者側委員	① 建設機械賃貸業は「指定業種」 ② 列記の指定要件②～④に該当すると認められると政令に依り定められる ③ 社団法人全国建設機械リース業連合会に於て「中小企業構造改善計画」を作成する ④ 之を建設大臣に提出して適当である旨の承認を受ける

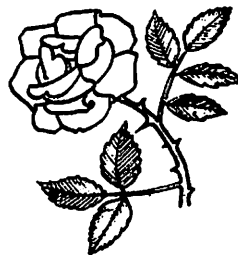
助成措置	之は我々業者が受け得る特典である	(左同)特定業種になると右3項目に加えて更に之だけの特典を受け得る
助成対象者	特典を受けられる者 即ち 建設機械器具賃貸業を営む中小企業者	特典を受けられる者(左同)但し、社団法人 全国建設機械リース業連合会の会員である中 小企業者 (日本重機械リース業協会々員は連合会々員 である)

中小企業者とは「建設機械器具賃貸業」は、現在「産業区分」の「サービス業」(通産省)に帰属して居る、依って「サービス業」としての中小企業者の範囲

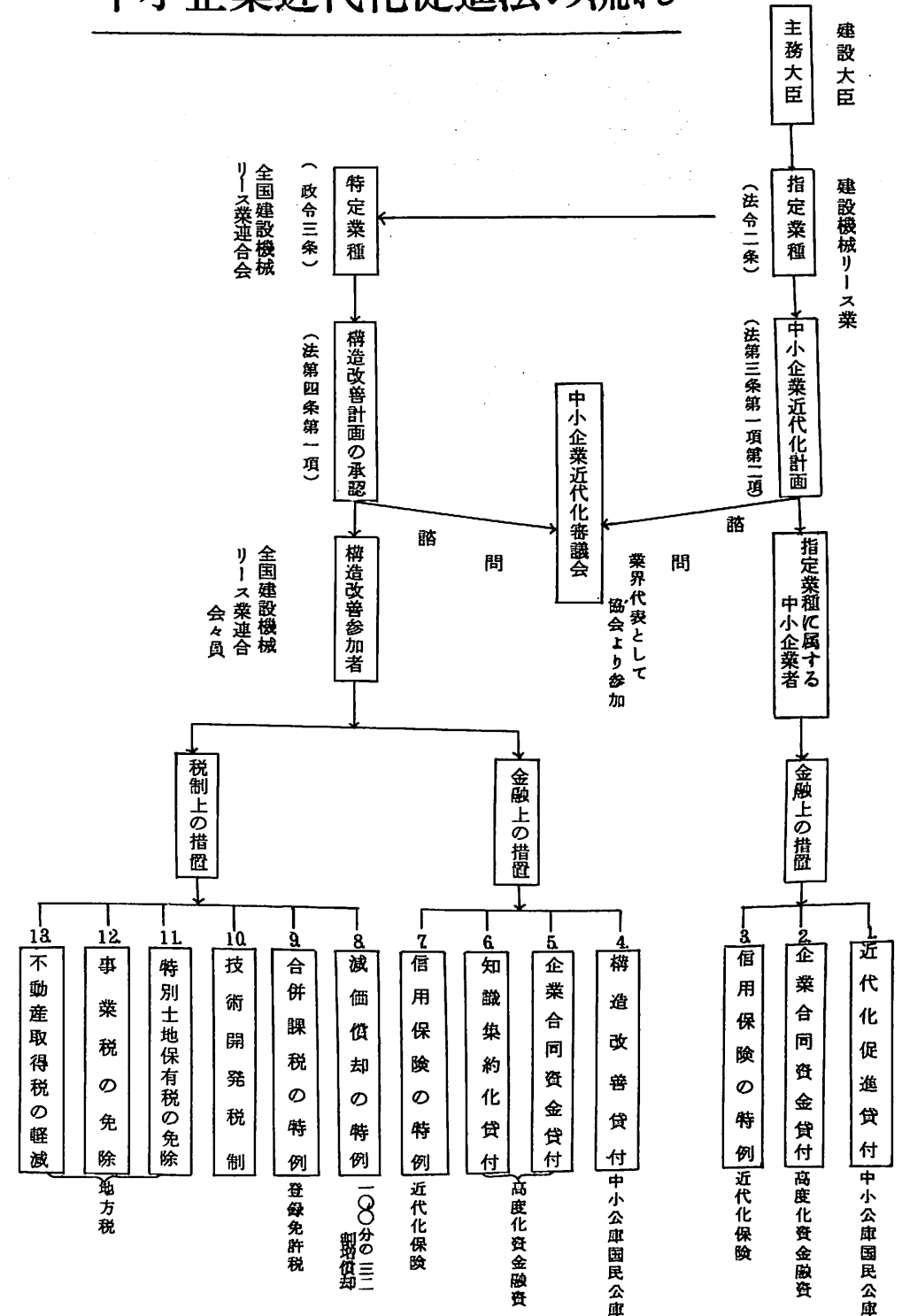
資本金 1,000 万円以下 の何れかに該当する企業(個人営業可)が適用され
又は従業員 50 人 # } (現在の建設機械器具賃貸業者の 9.24% が此の
範囲に入り該当する)

因に……産業区分が「建設業」の中小企業者の範囲は

資本金 1 億円 以下 の何れかに該当する企業となって居る
又は従業員 300 人 # } (此の範囲であると我々業者は 100% 該当企業となる)



中小企業近代化促進法の流れ



工事現場で 冴える技

一步進んだ技を磨いて新登場!!



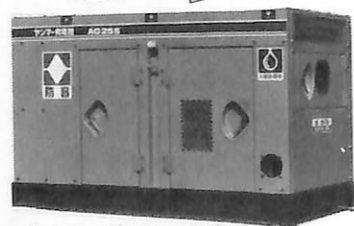
ヤンマーホイールバックホーローダ YBL21
●エンジン出力:20馬力
●バックホー・バケット容量:0.06m³
●ローダ・バケット容量:0.30m³



ヤンマークローラバックホー YB1200SS (静音タイプ)
●エンジン出力:22馬力
●標準バケット容量:0.12m³
●最大掘削深さ:2700mm



ヤンマークローラバックホー YTB1400S-H (静音タイプ)
●エンジン出力:25馬力
●標準バケット容量:0.13m³
●最大掘削深さ:3060mm



ヤンマー静音ポータブル発電機 AGシリーズ
●発電容量:5~500kVA



ヤンマーニューライトパワー YSGシリーズ
●発電容量:1.05~3.8kVA

ヤンマー建設機械

ヤンマーディーゼル株式会社 ●本社/大阪市北区茶屋町1番32号・〒530・TEL (06) 372-1111 (大代)
●支社/東京 ●支店/札幌・仙台・名古屋・大阪・高松・広島・福岡 ●詳しいカタログは本社宣伝部まで



HYDRO JET-CLEANER
ARIMITSU

8111001



HYDRO JET-CLEANER

(高圧洗浄機)

土木建設用

省エネルギー作業機!!
(節水・節電・
高能率)



ARC-25型



NEW MODEL

豊富な実績と経験から生まれた
ダムレイタンスカット専用機
の決定版!!

【仕様】 60/50 Hz

型 式		ARC-25
寸 法	長 mm	1,625
	巾 mm	1,090
	高 mm	1,400
重 量 Kg		500
ポンプ	圧 力 kg/cm ²	0 ~ 150
	理論吐出量 ℓ/min	56.0
電動機	型 式	全閉外扇
	出力kw (P S)	18 (25)
吐 水 ホ ー ス		5/8" × 20m
ノ ズ ル		ジェットガンノズル (JG150-35BL) ノズルチップ 直射扇型(15°)各1個

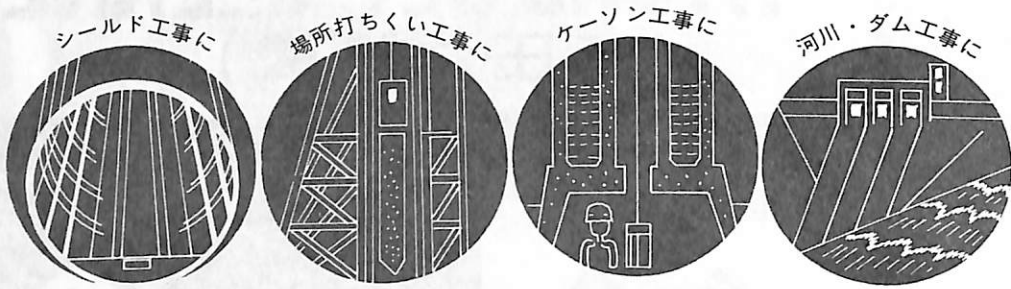


ARIMITSU
有光工業株式会社

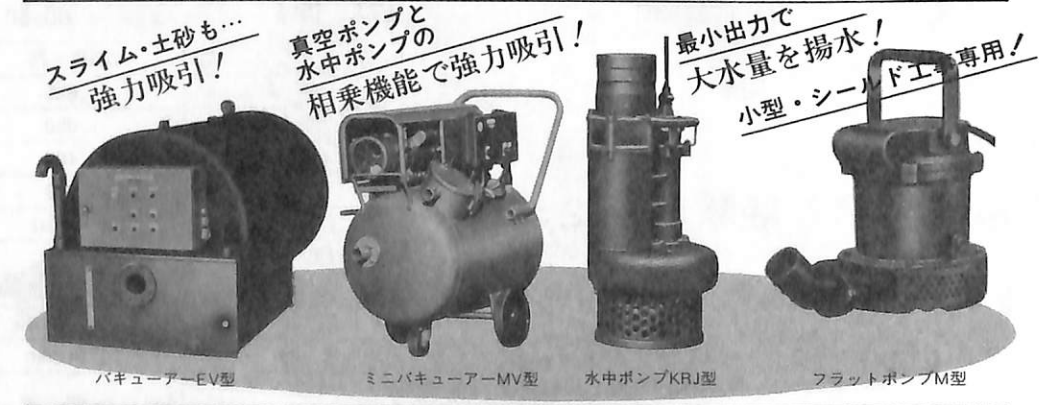
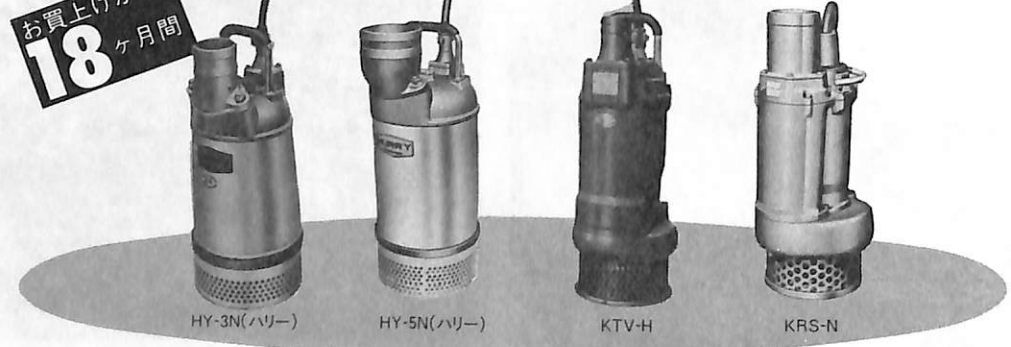
本 社 〒537 大阪市東成区深江北2丁目3-21
TEL 06 (976) 8181 (大代)
東京営業所 〒101 東京都千代田区神田紺屋町47番地
(新広栄ビル) TEL 03 (254) 0855 (代)
仙台出張所 〒988 仙台市福田町4丁目14-14
TEL 0222 (59) 4093
出張所 札幌・大宮・松本・福岡

Tsurumi PUMP

揃っています。 現場に合わせた「ポンプ機能」が。



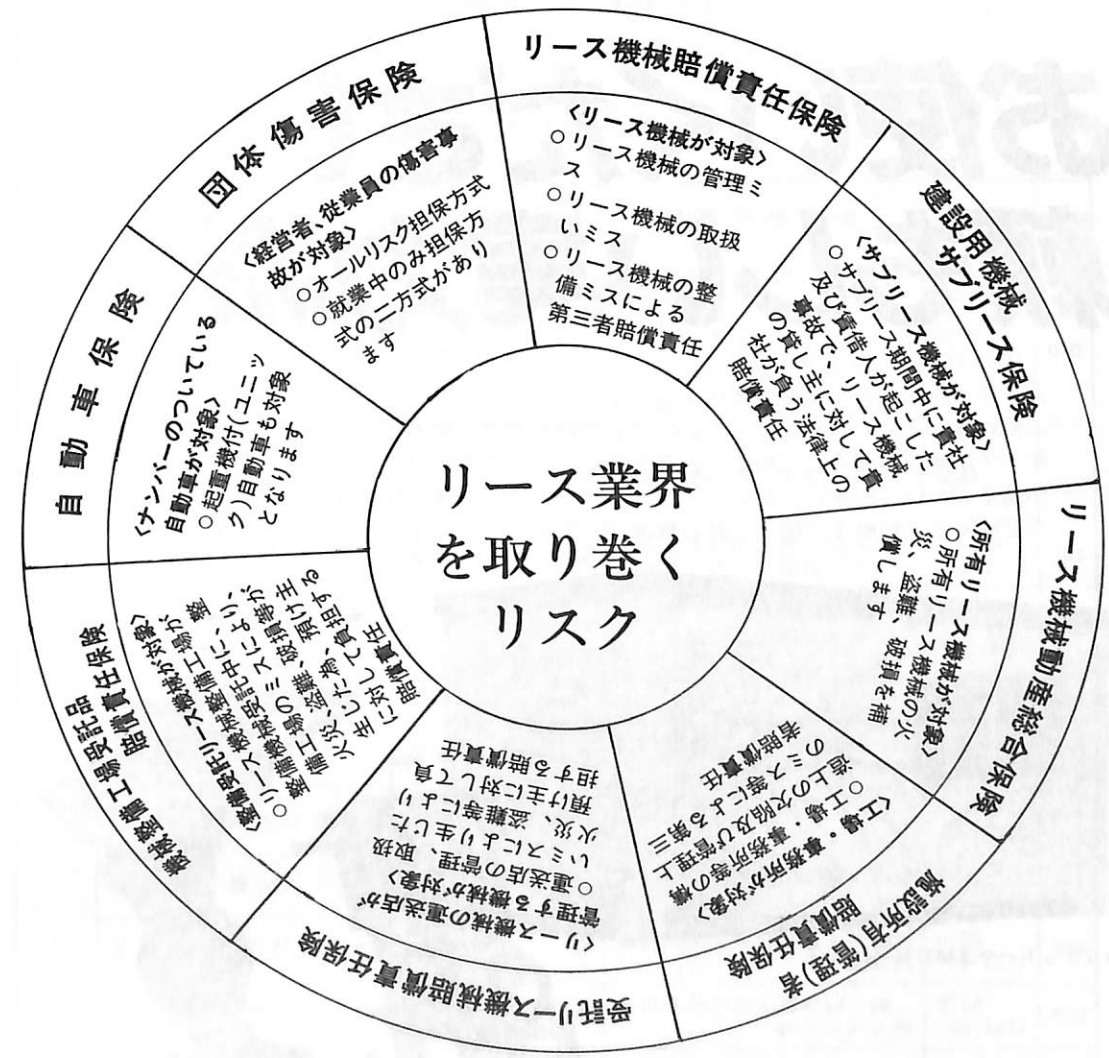
お買上げから18ヶ月間 無料メンテナンス制度も充実《32機種》。一般工事排水ポンプの主役です。



省エネポンプの明日をひらく
株式会社 鶴見製作所
大阪本店 〒538 大阪市鶴見区鶴見4丁目16番40号 ☎(06)911-2355他
東京本社 〒110 東京都台東区台東4-27-4(アイdeal第5ビル) ☎(03)833-0331他
北海道支店 ☎(011)731-8385 中部支店 ☎(052)481-8181 四国支店 ☎(0878)43-5133
東北支店 ☎(0222)94-4107 大阪支店 ☎(06) 911-2351 九州支店 ☎(092)431-0371
東京支店 ☎(03) 833-0331 中国支店 ☎(0822)93-4481 その他、全国56営業拠点…

ツルミインダストリアル株式会社・株式会社ツルミポンプ
〒550 大阪市西区南堀江4-9-35 ☎(06)541-8336
〒110 東京都台東区台東4-27-4(アイdeal第5ビル) ☎(03)833-9765

リース会社に必要とされる保険



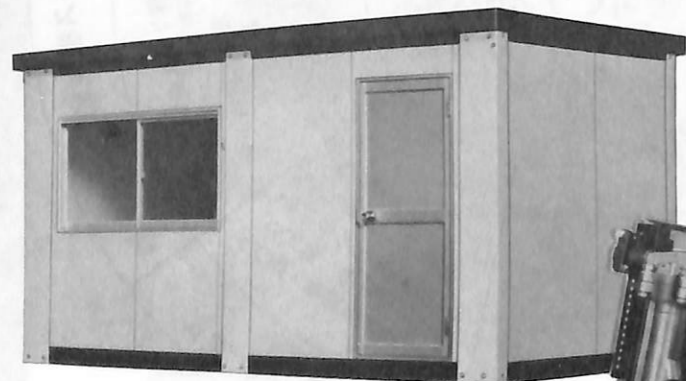
まだ、ご存知ない会員の皆様も是非所属協会または下記へお問い合わせ下さい。

引受保険会社 AIU 保険会社
(エイアイユー インシュアランス カンパニー)
赤坂支店：東京都港区赤坂3-1-2
TEL 03-(583)-1121

取扱代理店 株式会社 **サニー**
横浜：横浜市中区山下町2(産業貿易センタービル2F)
〒231 TEL045-662-8478
東京：東京都渋谷区渋谷1-14-11(小林ビル8F)
〒150 TEL03-409-1421
大阪：大阪府北区角田町8-47(阪急グランドビル16F)
〒530 TEL06-316-1541

お使いください 頼もしい実力派。

あらゆる現場に多くの建設機械を送り出しているワキタは、つねに消費者のニーズに多角な視野で応えてきました。そして、高い技術を誇りに性能と品質に定評のある製品をリース用建設機械として幅広く活躍しています。豊富なバリエーションは、あらゆる作業下において的確に、対応し、強力なパワーに安全性と操作性をプラスしました。小型機から大型機まで揃った建設機械は、業界をリードするメイホーの製品です。



●ユニットハウスMUH-3

●ロードメイトLJ-D



●テルガ35

株式会社 **ワキタ** 本社 大阪市西区本町1丁目8番15号 TEL (06)581-1001(代表)

- | | | | |
|--------------------------|--------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 大阪支店 ☎(06)581-3441(代表) | 山形営業所 ☎(0236)43-0077(代表) | 金沢営業所 ☎(0762)37-6381(代表) | 徳山営業所 ☎(0834)31-4502(代表) |
| 東京支店 ☎(03)668-0821(代表) | 郡山営業所 ☎(0249)43-1596(代表) | 滋賀営業所 ☎(0775)63-2375(代表) | 高松営業所 ☎(0878)41-4155(代表) |
| 九州支店 ☎(092)503-3377(代表) | 新潟営業所 ☎(0252)71-1121(代表) | 和歌山営業所 ☎(0734)45-8000(代表) | 松山営業所 ☎(0899)72-1818(代表) |
| 仙台支店 ☎(0222)92-6575(代表) | 前橋営業所 ☎(0272)53-2870(代表) | 守口営業所 ☎(06)996-6881(代表) | 長崎営業所 ☎(0957)26-7112(代表) |
| 広島支店 ☎(0822)72-4114(代表) | 埼玉営業所 ☎(0487)75-9021(代表) | 明石営業所 ☎(078)918-1145(代表) | 熊本営業所 ☎(0963)80-6555(代表) |
| 名古屋支店 ☎(052)622-5501(代表) | 土浦営業所 ☎(0298)57-5571(代表) | 岡山営業所 ☎(0862)41-8571(代表) | 鹿児島営業所 ☎(0992)61-1600(代表) |
| 札幌営業所 ☎(011)704-2681(代表) | 横浜営業所 ☎(045)921-0851(代表) | 鳥取営業所 ☎(0857)28-6221(代表) | 枚方工場 ☎(0720)58-0051(代表) |
| 青森営業所 ☎(0177)88-2181(代表) | 静岡営業所 ☎(0542)37-5021(代表) | 米子営業所 ☎(0859)29-6661(代表) | 東京工場 ☎(0474)34-1347(代表) |
| 盛岡営業所 ☎(0196)38-4105(代表) | | | |

会員名簿 (昭和56年12月1日現在)

社団法人全国建設機械リース業連合会

会長 山内 鹿蔵

事務局 東京都千代田区神田駿河台2-1 近江兄弟社ビル4F
〒101 電話03(293)7273~4

会員名称	代表者名	事務局所在地	電話	〒
北海道建設機械リース業協会	伊藤 鉄雄	北海道札幌市中央区 大通東3丁目 (株)大鉄内	011 241-5086	060
青森県建設機械リース業協会	高橋 弘一	青森県青森市港町1-7-1 (株)高重組内	0177 41-6531	030
宮城県建設機械リース業協会	阿部 喜平	宮城県仙台市福室字高砂駅東 17 青葉商工ビル3F	0222 59-0631	983
福島県建設機械仮設リース業協会	坂本 市郎	福島県郡山市富田町字向館 121-23	0249 52-0588	963
東京建設機械リース業協会	山内 鹿蔵	東京都千代田区神田駿河台2-1 近江兄弟社ビル4F	03-294 4071~2	101
日本重機械リース業協会	後藤 毅	東京都千代田区神田駿河台2-1 近江兄弟社ビル4F	03 295-1820	101
神奈川県建設機械リース業協会	中村 憲	神奈川県横浜市西区平沼 1-2-23 中村ビル	045 322-0613	220
静岡県建設機械リース業協会	松井 重雄	静岡県浜松市西町865 大興リース(株)内	0534 63-8821	435
静岡県重機建設業工業組合	近藤 憲一	静岡県静岡市下川原6-24-14	0542 59-7542	421-01
中部建設機械リース業協会	坂井 照	愛知県名古屋市西区藤ノ宮通 り3-43 小出ビル内	052 571-2080	451
富山県建設機械リース業協会	高野 登	富山県黒部市沓掛道上割3025 吉田商会内	0765 54-1371	938
石川県建設機械リース業協会	吉川 義孝	石川県金沢市元菊町14-10 (株)ケンシン内	0762 33-1217	920
福井県建設機械リース業協会	松田 確太郎	福井県福井市下河北町一字町 永25-1 ケンキリース(株)内	0776 38-1580	919-03
大阪建設機械リース協同組合	永田 仁作	大阪府大阪市浪速区桜川3-1-28 脇田第1ビル内	06 562-1987	556
兵庫県建設機械リース業協同組合	桐月 正邦	兵庫県神戸市中央区多聞通3-2-9 甲南スカイビル4F316号	078 361-2481	650
中国建設機械リース業協会	野口 誠輔	広島県福山市曙町3丁目252-2 富野機工(株)内	0849 53-9511	721
四国建設機械リース業協会	松井 貢	香川県高松市春日町795 (株)田中鉄工所内	0878 41-2105	761-01
九州建設機械リース業協会	木付 辰生	福岡県福岡市東区箱崎7-1-124 西鉄(株)建機営業部内	092 631-1331	812

編集後記

昭和56年後期号(通第17号)の発行が若干遅れましたことをお詫びします。

本号には、第8回定期総会と21回理事会の連合会行事の詳細のほかこの10月9日、建設機械器具賃貸業が近促法の指定業種に認定された件について解説を掲載しました。又、この程連合会の「就業規則」が制定され全国の協会にお届けしました。連合会が業種の正常な運営を期するため、職員の就業条件及び服務規律等を規定するもので、連合会が今後より一層健全な発展を遂げるためには必要不可欠なものであります。

そして、その発展の中から職員の福利厚生などの増進をはかりたいと思います。

また、この就業規則作成のため、幾回となく会議を重ねられた事務局運営協議会の方々の御努力に対し厚くお礼申し上げる次第です。

なお、本号に掲載しなくてはならなかった各地区協会の定例総会の記事が、事務局の事務繁忙のため原稿御依頼が出来ず、申し訳ありませんでした。この誌上を借りてお詫びします。

連合会副会長・広報委員長

中村 憲

●新事務局長決まる

事務局よりお願い

○お詫び=今回は事務局の事務輻輳のため、従来地区協会の総会原稿の御依頼が出来ず申訳ありませんでした。各地区協会の総会記事は次号に間違いなく掲載致しますので御容赦下さい。次に事務局から5点程お願い致します。

1. 地区の協会、組合員中に慶弔が御座いました折は、地区事務局を通し本部事務局まで御連絡下さい。慶弔電を発信したいと存じます。
2. 各種の調査に御協力方を御依頼申し上げますが、期日までに御回答頂けますようお願い申し上げます。
3. 会員の皆様(地区)の住所、電話番号、その他の移動がありました節は、夫々の地区協会・組合に御連絡を頂き、協会・組合事務局はとりまとめ本部事務局に御一報下さい(資料訂正のため)。
4. 毎月20日現在で地区の正会員・賛助会員数を御連絡頂きますようお願い申し上げます。
5. 近促法の一部改正にともない、業種指定が実施されましたので、実態調査が行なわれますのでよろしく御協力下さいますようお願い致します。

このほど、連合会の新事務局長に木村春樹氏(57才)が採用されましたのでお知らせ致します。

余裕のパワー! 稼ぎもデツカイ。

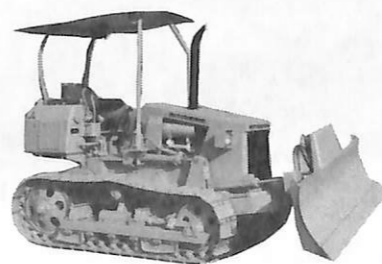
三菱の小型建設機械シリーズ



BS3 定格出力・39PS
バケット容量・0.4m³
湿地、超湿地



WS200 定格出力・25PS
バケット容量・0.4m³
普通免許で運転可



BD2 定格出力・39PS PAT仕様
接地圧・湿地 0.22
超湿地 0.15
超々湿地 0.11



WS400 WS500
定格出力・52PS 52PS
バケット容量・0.6m³ 0.8m³
11トンドンプに積込み可

キャタピラー三菱株式会社

西関東支社：〒192 東京都八王子市石川町2968-6 ☎(0426)42-1115 代表
東京東支店 ☎(03)625-2313代 豊島営業所 ☎(03)972-0314代
中央営業所 ☎(03)452-3281 多摩支店 ☎(0426)42-1111大代
東京西支店 ☎(03)354-5331代 横浜支店 ☎(045)322-7411代

会報 第17号 56年後期号

発行/昭和56年12月20日、発行者/(社)全国建設機械リース業連合会

東京都千代田区神田駿河台2-1近江兄弟ビル4F(〒101) TEL03(293)7273~4

発行責任者/広報委員長 中村 憲

制作/ノダ企画・東京都文京区湯島1-12-5小安ビル(〒113) TEL03(832)6473

出来る。

パワーも、機能もあらゆる掘削作業に必要な十分な能力を発揮する小型・都市型サイズ。ダブルポンプの採用により、連動操作も実にスムーズ。また、1本シリンダーでブームが左右1150°フルスライド。個性派が揃ったアイチのトラック・バックホー〈B-240シリーズ〉。

また、4トン車に打撃力193kg-mの大型油圧ブレーカを搭載した〈B-300BC〉も揃っています。



⊗ 愛知車輛株式会社 仙台支店 ☎0222(96)0421(代)
 東京支店 ☎03(862)4121(代)・名古屋支店 ☎052(621)5112(代)
 大阪支店 ☎06(968)7731(代)・営業本部 ☎0487(81)1111(代)
 愛知車輛北海道販売 ☎011(641)3141(代)・愛知車輛北陸販売 ☎0764(34)2181(代)
 愛知車輛中国販売 ☎0822(85)0201(代)・愛知車輛九州販売 ☎09293(5)5353(代)
 ●カタログを差し上げます。最寄りの営業所へご請求ください。



作業効率を高めた〈B-240〉。

●掘削深さ=4.0m●最大リーチ=6.2m●バケット巾=0.6m



住宅地でも静かな作業の〈B-240S〉。

●掘削深さ=4.0m●最大リーチ=6.2m●騒音レベル=55dB/30m●バケット巾=0.6m



前積作業のラクな〈B-240L〉。

●掘削深さ=4.97m●最大リーチ=7.1m●アーム伸縮長=1.0m●前積距離=2.92m●バケット巾=0.6m



ハードパンチで砕く〈B-300BC〉。

●破砕深さ=5.17m●最大リーチ=8.0m●打撃力=193kg-m



オプション
省エネ

オプション
セーフティ

リモコン付
スローダウン装置

EDG
モニター装置

日車総代理店



にちゅう 日熊工機株式会社

営業本部 東京都中央区八丁堀1-11-5 奥山ビル 〒104 電話(03)552-9506
 本社 名古屋市中区栄3-2-7 丸善ビル5階 〒460 電話(052)261-1431

札幌 釧路 青森 秋田 盛岡 仙台 新潟 金沢 名古屋 大阪 岡山
 広島 高知 福岡 鹿児島

独自の技術でリードする

最もコストパフォーマンスに秀れた

エアマン

●15PS(1.4m³/min~34.0m³/min)

●12KVA~450KVA

防音型 ポータブルコンプレッサー

防音型 ディーゼル発電機

ニュースクリューコンプレッサー

PDS-175S型(5.0m³/min) 880kg



抜群の耐久性で低燃費、3年間で約162万円を節約する省エネルギー型。



- 小型・軽量設計のニューモデル
- 発電機の見張り役〔エアマンモニター〕標準装備
- 燃料節約スローダウン装置(オプション)
- 2段積み可能

ニューロータリーコンプレッサー

PDR-50S型(1.4m³/min) 360kg



このクラスでは最も小型・軽量・低騒音、メンテナンスフリーで経済的。

●140A~330A

防音型 エンジン溶接機

PGW140
PGW190
PGW140S
PGW190S
PDW200S
PDW230S
PDW250S
PDW270S
PDW330S



- スローダウン装置で燃料節約
- 安定したアーク特性
- 何台でも並列運転可能
- 溶接機・発電機1台2役



北越工業株式会社

新潟本社・工場 ●新潟県西蒲原郡分水町大武新田113-1 ●TEL (02569)7-3201(大代) ●〒959-01
東京本社・支店 ●東京都新宿区西新宿1-22-2新宿サンエービル ●TEL (03)348-8561(大代) ●〒160
大阪支店 ●大阪府摂津市新在家2丁目32番13号 ●TEL (06)349-3631(大代) ●〒564

営業所 ●札幌/盛岡/仙台/郡山/新潟/宇都宮/高崎/千葉/横浜/松本/静岡/名古屋/金沢/京都/高松/広島/岡山/福岡/鹿児島/大分/沖縄